

科目名	情報技術の基礎	英文表記	Fundamentals of Information Technology		平成27年2月12日			
科目コード	1015							
教員名:宮城 桂、佐藤 尚 技術職員名:					作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			1年	必	履修	3単位	講義	通年
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータリテラシーを習得する。 ・情報処理、通信に関する基礎知識、技術について理解する。 ・社会における情報化の進展と情報の意義や役割について理解を深める。 ・情報及び情報手段を活用する能力を会得する。 							
総合評価	前期評価:定期試験(中間・期末)の平均の70%、および演習30%により評価する。 後期評価:定期試験(中間のみ)の60%、および演習40%により評価知る。 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。							
科目 目標 達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の 評価方法	ルーブリック				
				理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達 レベル	セルフ チェック	
	20%	① メールの使い方 およびプレゼン テーション技法を 学び、メールの送 受信とプレゼン テーション資料の 作成ができる。	演習で評価す る。	メールの使い方 およびプレゼン テーション技法の 基礎やマナーを 理解し、学校外と やりとりするメー ル、および外部で の発表に用いる プレゼンテーショ ン資料を作成す ることができる。	メールの使い方 およびプレゼン テーション技法の 基礎やマナーを 理解し、学校内 でやりとりするメ ール、および発表 に用いるプレゼン テーション資料を 作成することが できる。	メールの使い方 およびプレゼン テーション技法の 基礎を理解し、最 低限のメールとプ レゼンテーション 資料を作成する ことができる。		
	10%	② コンピュータリテ ラシー、情報モラ ル、そしてネット ワークの活用方 法とそれを利用 する上での心構 えを説明できる。	定期試験で評価 する。	コンピュータリテ ラシー、情報モラ ル、そしてネット ワークの活用方 法とそれを利用 する上での心構 えを理解し、論理 的に説明すること ができ、更にそれ らを具体的に活 用することができる。	コンピュータリテ ラシー、情報モラ ル、そしてネット ワークの活用方 法とそれを利用 する上での心構 えを理解し、論理 的に説明すること ができる。	コンピュータリテ ラシー、情報モラ ル、そしてネット ワークの活用方 法とそれを利用 する上での心構 えを理解すること ができる。		
	20%	③ HTMLの基本を 学び、基礎的な WEBページを制 作できる。	演習で評価す る。	HTMLの基本を 学び、基礎的な WEBページ、およ びそれらのペー ジを組み合わせ た大規模なWeb サイトを制作す ることができる。	HTMLの基本を 学び、基礎的な WEBページを制 作することができる。	HTMLの基本を 学び、基礎的な WEBページの仕 組みを理解する ことができる。		
20%	④ 問題解決の方法 とそれのための情 報活用方法、お よびマルチメ ディアについて説 明できる。	定期試験で評価 する。	問題解決方法論 の基礎とそれた めの情報収集・ 整理・活用方法、 およびマルチメ ディアについて理 解し、それらを身 の回りの基本的 な問題に対して 具体的に適用す ることができる。	問題解決方法論 の基礎とそれた めの情報収集・ 整理・活用方法、 およびマルチメ ディアについて理 解し、それらにつ いて論理的に説 明することができる。	問題解決方法論 の基礎とそれた めの情報収集・ 整理・活用方法、 およびマルチメ ディアについて理 解することができる。			

10%	⑤ コンピュータの構成要素と周辺機器、メディアやネットワークの仕組み、そして情報の歴史について説明できる。	定期試験で評価する。	コンピュータの構成要素と周辺機器、メディアやネットワークの仕組み、そして情報の歴史について理解し、論理的に説明することができ、更にそれらについての具体的な活用方法を考案することができる。	コンピュータの構成要素と周辺機器、メディアやネットワークの仕組み、そして情報の歴史について理解し、論理的に説明することができる。	コンピュータの構成要素と周辺機器、メディアやネットワークの仕組み、そして情報の歴史について理解することができる。
20%	⑥ 動画のしくみについて理解を深め、基本的なアニメーション作品を制作できる。	演習で評価する。	動画のしくみの基礎、および基本的なアニメーション作品の制作技法を理解し、論理的に説明することができ、更に新規のアニメーション作品を制作することができる。	動画のしくみの基礎、および基本的なアニメーション作品の制作技法を理解し、論理的に説明することができる。	動画のしくみの基礎、および基本的なアニメーション作品の制作技法を理解することができる。

本科・専攻科教育目標	1	2	3	4
	◎	○		○

評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合

	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		65	0	0	35	100	
基礎的理解	①～⑥	65				65	
応用力(実践・専門・融合)	③④⑥				30	30	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①				5	5	
主体的・継続的学修意欲						0	

授業概要、方針、履修上の注意	プレゼンテーション、電子メール、HTML、表計算、動画に関する演習を通してコンピュータリテラシーを習得する。また、コンピュータの構成と動作、通信システムとネットワーク構成、情報セキュリティ技術、情報社会の進展とその影響・課題、情報社会での個人の責任など情報処理と情報通信に関わる基礎的知識と基本技術を学ぶ。
-----------------------	---

教科書・教材	高校 社会と情報
---------------	----------

